



報道関係者各位

2020年7月14日(火)
ハナマルキ株式会社

ハナマルキ2020年秋の新商品 9月1日より発売 「液体塩こうじ」発売後初となる新しいボトルへリニューアル 握りやすいくびれ型、量を調節しやすいプッシュ式に



味噌・醸造製品メーカーのハナマルキ株式会社（本社：長野県伊那市、代表取締役社長：花岡俊夫、以下当社）は、ボトルデザインをリニューアルした当社の主力商品「液体塩こうじ」を、2020年9月1日より発売します。

■「液体塩こうじ」2019年度の売上高は前年比140%と大きく成長（家庭用）

2012年より発売を開始した「液体塩こうじ」は、日本の伝統調味料である塩こうじを、当社独自の製法で液体化した調味料です。液体なので計量しやすく他の調味料や食材とも合わせやすいのが特長です。こうじ由来の酵素が素材の旨味を引き出し、肉・魚の漬け込みから、煮物・炒め物などの味付けまで万能調味料として幅広く使用いただけます。2012年の発売以来順調に売上を伸ばしており、2019年度の売上（家庭用）は対前年比140%増となりました。

■もっと使いやすい調味料を目指して、ボトルを抜本的にリニューアル。

この度、「液体塩こうじ」のさらなる売上拡大を目的に、20代～60代の日常的に料理をする女性を対象に消費者調査を実施した結果、現行品について「使い切れない」「使い方が分かりづらい」「スタイリッシュさが足りない」などの課題が判明しました。

さらに、「調味料には容器の機能性も重視する」という消費者のニーズも参考に、発売後初となるボトルデザインのリニューアルを決定しました。今回のリニューアルによって新規ユーザーやリピーターを拡大し、さらに多くの方に液体塩こうじを手にとっていただきたいと考えております。



■リニューアルのポイント

新しいボトルは、お客様の「使いやすさ」にフォーカスしました。手間のかからない中栓の無いキャップ、量調節のしやすいプッシュ式、持ちやすいくびれ型への変更など、ボトルの形状を大きく刷新しました。また、はがしやすくなったシュリンクラベルには、液体塩こうじの基本の使い方を裏面に大きく記載し、QRコードからのレシピサイトへの誘導を図ります。容量については、お客様の「使いきれない」の声にお応えし、300mlに変更しました。試しやすいサイズ感にすることで、新規ユーザーの獲得を目指します。

① 中栓の無いすぐに見える便利なキャップ

- 開けるのに苦労することの多い中栓を無くし、手間を削減しました。

② 持ちやすいくびれ型ボトルへ

- 胴径を人間工学の観点から男女共に握りやすいとされる 52 mmに設定。手にフィットして安定するくびれ型にしました。

③ 量調節しやすい細口&プッシュ式

- 少量ずつ出る細口キャップと、押し加減で量調節ができるプッシュ式で、様々な調理方法でも使いやすくなりました。

④ 使い方がより分かりやすいデザイン

- 基本の使い方を裏面に大きな文字で配置。QRコードでレシピサイトへ簡単にアクセス可能です。

⑤ はがしやすいシュリンクラベル

- はがしやすいシュリンクラベルで、使用後の分別が簡単になりました。

⑥ 使い切りやすい容量へ

- お客様の「使いきれない」の声にお応えし、使いきりやすい容量（300ml）に変更しました。

<新ボトルのPVを制作>

リニューアルに伴い、新しいボトルの使いやすさを訴求したPVを制作しました。当社のウェブサイトや公式SNS等に掲載し、お客様にリニューアルについて広く告知を行います。

【動画URL】 <https://youtu.be/uAwQIvZNUwQ>

以上のリニューアルにより、容器も含めた「使いやすさ」を追求することで、さらにお客様の料理の幅を広げ、より豊かな食卓に貢献してまいります。

■「液体塩こうじ」概要

商品名：液体塩こうじ 300ml

原材料：米こうじ、食塩/酒精

容量：300ml/本

栄養成分：（大さじ1杯 [15ml] 当り）

エネルギー24kcal、脂質0g、たんぱく質0.2g、

炭水化物5.7g、食塩相当量2.2g

URL：<https://www.hanamaruki.co.jp/shiokouji.html>

